

観光振興と交流人口の拡大を図る

観光交流推進計画の策定について説明を受けた。

【計画策定の主旨】

社会情勢の変化を捉え、本町の豊かな自然と豊富な観光資源を活かし、更なる観光の振興、交流人口の拡大を図るため、白鷹町観光交流推進計画の策定を行うもの。

【策定の視点】

国の示す「観光立国推進基本計画」を踏まえ、次の三つをキーワードに策定を行う。

○持続可能な観光まちづくり

観光関連人材の確保、町内の自然や文化と観光の両立、観光施設の計画的な修繕、整備

○消費額の拡大

観光地・観光産業の高付加価値化、稼ぐ観光地づくりへの転

換、インバウンド受け入れに向けたコンテンツ整備等

○誘客促進

観光DX化、情報発信の強化

【スケジュール】

令和6年8月20日

第1回策定委員会

令和6年12月

中間報告

令和7年1月中旬～下旬

パブリックコメント

令和7年3月

計画策定



にぎわう紅花まつり

質疑

日本の紅

委員「日本の紅も浸透してきたが、今後継続していくのか、ステツプアップしていくのか。」

町長「紅は紅花だけでなく、トマトなど幅広い品目などもある。こうした様々な分野と連携して取り組んでいきたい。」

地場産業の取組

委員「観光交流は地場産業の充実が重要と思う。その取り組みをどうしていくか。」

町長「商売として成り立つことが産業の基礎となるので、その支え方を検討していく必要がある。人口減少や高齢化など大きな課題があるので総合的に取り組んでいきたい。」

町長「商売として成り立つことが産業の基礎となるので、その支え方を検討していく必要がある。人口減少や高齢化など大きな課題があるので総合的に取り組んでいきたい。」

安定した給水へ向けて経営戦略を見直す

水道事業経営戦略の改定について説明を受けた。

【改定の目的】

現在維持管理費が高騰しており、今後は老朽管の更新期に入り更なる費用の捻出が必要状況にある。

また、人口減少による料金の収入減少等もみられる中、今後も安定的に給水し続けられる経営のあり方や、経営基盤強化に向けて検討する必要がある。

【計画期間】

令和7年度から令和16年度（計画の見直しは3～5年間で実施）

【課題等の整理】

○急激な人口減少に伴う料金収入の減少
○施設や設備の老朽更新の実施
○管路等の耐震化事業の実施

○表面化しない漏水への対策

○経営の合理化や効率化による経営基盤の強化

質疑

現状の水道料金

委員「現状の水道料金の改定は直近でいつだったのか。」

当局「消費税は別として昭和63年に実施し、その後は行っていない。」

今後の料金改定

委員「人口減少が進んでいく中で、料金改定をどのように考えるか。」

町長「現経営は順調だが、これから利用者が減ると、経営の合理化と効率化を検討する必要がある。将来、近隣自治体とも検討しながら合理化を進める必要

があり、料金改定は直ちにはなく、見据えなければならぬ。



その他
○令和6年度除雪事業について
○白鷹町住生活基本計画策定について説明があった。